作品賞　嘉麻市庁舎

建物外観（撮影：八代写真事務所）

建築概要

建 設 地：福岡県嘉麻市岩崎 1180 番地 1
建 築 主：嘉麻市
設　　計：株式会社久米設計
施　　工：株式会社淺沼組
建築面積：2760.74m²
延床面積：9652.99m²
階　　数：地上 6 階、地下なし
高　　さ：24.72m
構造種別：鉄筋コンクリート造　一部 鉄骨造

選評

扁平柱と扁平梁の RC 構造フレームを率直に外観デザインに生かした端正な外観は遠賀川の豊かな自然によく調和している。コンパクトな正方形平面は、コスト削減にも免震構造採用にも効果的である。類似したファサードは見かけることはあるが外観四周にここまでは徹底はされていなかった。コの字形でフレキシブルな執務室の床は厚さ 450mm のボイドスラブを採用。階高を圧縮するとともに落下の心配のない打ち放しコンクリートの直天井は執務室と外部がシームレスに連続して光導く開放感を提供している。中央部のエコボイドは温度差換気を促し、自然採光に自然通風という環境に対する配慮も怠らない。嘉麻市産杉材も適所に配しコンクリートの空間の中に暖かな彩りを添えている。議場の大スパン架構を軽快に実現する格子フレーム、基準階西側廊下の縦軸回転木ブラインド、また内部の扁平断面柱は構造システムとサインシステムを融合したサインウォールとするなどディテールにまでこだわりを感じる。また敷地地盤のかさ上げで集中豪雨の浸水に対する配慮など、建築計画と環境計画そして免震を含む構造計画が見事に重ねあわされたものとして、日本免震構造協会賞作品賞にふさわしい建築と考えます。　（江副 敏史）

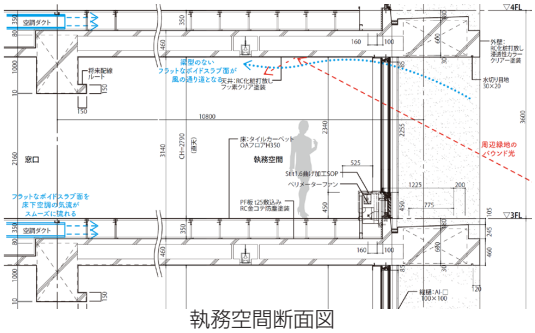
建築主：嘉麻市
設計者：株式会社久米設計　福田光俊、永野孝之、福田哲也

免震・制振化した経緯及び企画設計等

本庁舎は、安心安全の確保のための基礎免震構造を主軸とし、落下の心配のない「コンクリート打ち放しの直天井」、コスト削減のための「コンパクトな正方形平面で基壇のないワンボリュームの計画」、建物全体の剛性を高めることで免震層の効率的な長周期化を実現させる「扁平柱によるトリプルチューブ構造」を採用し、構造的に無理なく柱及び梁型のないフレキシブルな執務空間を実現している。

技術の創意工夫、新規性及び強調すべき内容等

平面計画の基本は、中央部のエコボイド、遠賀川のある東側に開いたコの字形のフレキシブルな執務空間、外周部に一定ピッチで配した扁平柱である。執務空間は梁型のない無天井化を実現しつつ、階高を抑えるために PC 鋼線を配した鋼管ボイドスラブを採用しており、外周部からシームレスに連続したフラットな天井面が周辺の田畑や山並みの緑からバウンドした間接光を室内に導き、且つ自然換気のための風を遮ることなく取り入れる道筋となっている。また、盆地特有の一定でない風環境に対してウィンドキャッチとなる正方形グリッドのアウトフレームは夏季の直接の太陽光を遮るライトシェルフとしての役割も担い、日射制御シミュレーションにより、奥行き・形状・ピッチを設定している。エコボイド周りの案内サインを兼用したインナーフレームの扁平柱に地震力の多くを負担させ、トリプルチューブ構造として、剛性·耐力の高い骨組みとなっており、各階の床応答加速度の抑制に貢献している。



執務空間断面図

1 階待合スペース（撮影：八代写真事務所）